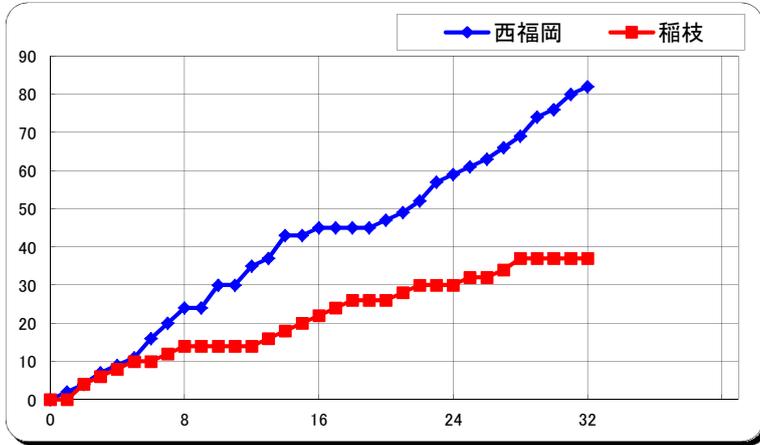




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	春日部市総合体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 11:00																
コート	Eコート	第2試合															
カテゴリ	男子	予選Eリーグ															
主審	中村 浩仁 (青森県)																
副審	小田部 勝 (埼玉県)																
Team A		Team B															
西福岡	82	37 稲枝															
(福岡県)		(滋賀県)															
	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>7</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	24	1st	14	21	2nd	8	14	3rd	8	23	4th	7	OT			
24	1st	14															
21	2nd	8															
14	3rd	8															
23	4th	7															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		西福岡					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	酒井 達也	×	5	1	1	0	3
5	吉田 乙輝	×	7	0	3	1	0
6	高木 トニ-八十吉	×	2	0	1	0	2
7	吉川 拓人	✓	0	0	0	0	0
8	重富 周希	✓	14	2	4	0	1
9	重富 友希	✓	2	0	1	0	0
10	大庭 椋	✓	4	0	2	0	0
11	山崎 純	×	5	0	2	1	0
12	永野 聖汰	✓	11	1	4	0	1
13	牧野 圭吾	✓	4	0	2	0	2
14	松脇 圭志	×	18	2	6	0	0
15	野元 啓太郎	✓	5	1	1	0	1
16	樋口 博之	✓	0	0	0	0	1
17	山下 龍	✓	2	0	1	0	0
18	野口 大那	✓	3	1	0	0	1
監督	鶴我 隆博						0
コーチ	0						0
合計			82	8	28	2	12

Team B		稲枝					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	奥野 綾汰	×	16	0	8	0	1
5	寺田 春平	×	0	0	0	0	0
6	赤田 智	×	3	1	0	0	3
7	青木 光	×	12	0	5	2	0
8	松村 拓実	×	0	0	0	0	0
9	大前 敦裕	✓	0	0	0	0	1
10	福澤 太一	✓	6	0	3	0	1
11	木澤 昇希	✓	0	0	0	0	1
12	福原 直樹	✓	0	0	0	0	0
13	福原 和樹	✓	0	0	0	0	0
14	中島 健登	✓	0	0	0	0	0
15	筒井 隆稀	✓	0	0	0	0	0
16	永井 大樹	✓	0	0	0	0	0
17	吉川 慎哉	DNP	0	0	0	0	0
18	小宮山 裕貴	DNP	0	0	0	0	0
監督	小川 秀之						0
コーチ	清水 ひろみ						0
合計			37	1	16	2	7

【戦評】

予選Eリーグ、西福岡(九州)と稲枝(近畿)の戦いは、1Q序盤、西福岡#14のブレイクで先制すると、2-2-1ゾーンプレスから1-3-1ゾーンDefで相手のOffリズムを崩そうと試みる。ショートコーナーを使った速いパス回しから得点を重ねようとする稲枝だが、ゾーンプレスの対応に苦戦し、ターンオーバーが続いてしまう。一方、西福岡は相手のマンツーマンに対し、#14の1on1を中心にドライブイン、アウトサイドシュートをリズムよく決め点差を広げる。西福岡24-14稲枝と10点差で1P終了。2Q、互いにDefの変化は見られなかったが、双方ともにターンオーバーが目立ち得点に結びつけることができない。4分31秒で西福岡のタイムアウト後、激しくなったDefに稲枝のOffリズムは悪化してしまい、西福岡43-22稲枝と23点差で前半を折り返す。

3Q、ドライブからショートコーナーに合わせて得点した稲枝だが、その後ターンオーバーが続き流れがつかめない。一方、西福岡は2年生主体のメンバーに入れ替える余裕の展開を見せるが、こちらもターンオーバーやイーージーミスが目立ち思うように得点が伸びない。59-30とお互い我慢の展開となる。4Q、稲枝は得点源の#4を負傷で欠く立ち上がりとなり、#7、#10のセカンドショットが得点源となる。しかし、西福岡の執拗なDefにミスが続き得点が伸びない。西福岡は#15、#18の連続アウトサイドシュートを皮切りに、リバウンドシュート・ノーマークシュートを確実に決め、リードを広げる。終始、1対1の技術に勝る西福岡が、82-37で1勝を手にした。

【戦評記入者】

増田義裕

埼玉県中学校体育連盟 バスケットボール専門部